

わかすぎ学園に 唐揚げどっさり

鶏笑登別店が600個以上寄贈

室蘭市母恋南町の児童養護施設わかすぎ学園に13日、唐揚げ専門店から揚げたての唐揚げがどっさり届いた。その数、600個以上。夏休み中の子どもたちは笑顔いっぱい、思い思いに頬張った。

贈ったのは、国内外で170店舗以上を展開するテークアウト専門の鶏笑（本社大阪）登別店（登別市新生町）。同店は長期研修で今月31日まで一時休業するため、余剰となった食材を生かして子どもたちを喜ばせようと発案。学園側の快諾を得て実現した。

この日は、店の看板メニューである鶏の唐揚げを部



揚げたての唐揚げを贈る鶏笑登別店の経営者、日置さん（左端）ら

~~~~~  
位別に、むね肉210個、もも肉260個、砂肝150個、手羽先30本を1時間以上かけて用意し、店舗を経営する代表取締役の日置裕之さんら2人が、熱々のまま届けた。日置さんは「夏休みのおいしい思い出にしてくれたらうれしい」と話していた。

同学園を運営する室蘭言泉学園の伊藤裕司総合施設長は「唐揚げは子どもたちの大好物。本当にありがたい」と感謝していた。

（野村英史）